

みずほCustomer Desk Report 2018/04/26 号 (As of 2018/04/25)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.89
TKY 9:00AM	108.81	1.2237	133.15	GBP/USD	1.3994
SYD-NY High	109.45	1.2238	133.34	AUD/USD	0.7605
SYD-NY Low	108.79	1.2160	132.92		0.7606
NY 5:00 PM	109.43	1.2160	133.09		0.7553
NY DOW	24,083.83	59.70	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,003.74	▲ 3.61	日本10年債	0.0600	1.00bp
S&P	2,639.40	4.84	米国2年債	2.4899	1.74bp
日経平均	22,215.32	▲ 62.80	米国5年債	2.8409	1.39bp
TOPIX	1,767.73	▲ 2.02	米国10年債	3.0296	3.10bp
シゴ日経先物	22,305	210.00	独10年債	0.6300	0.45bp
ロンドンFT	7,379.32	▲ 46.08	英10年債	1.5395	0.05bp
DAX	12,422.30	▲ 128.52	豪10年債	2.8370	▲ 0.30bp
ハンセン指数	30,328.15	▲ 308.09	USDJPY 1M Vol	7.35	▲ 0.06%
上海総合	3,117.97	▲ 10.95	USDJPY 3M Vol	7.78	0.03%
NY金	1,322.80	▲ 10.20	USDJPY 6M Vol	8.11	▲ 0.04%
WTI	68.05	0.35	USDJPY 1M 25RR	-0.70	Yen Call Over
CRB指数	200.69	0.61	EURJPY 3M Vol	7.60	0.15%
ドルインデックス	91.17	0.41	EURJPY 6M Vol	8.10	0.03%

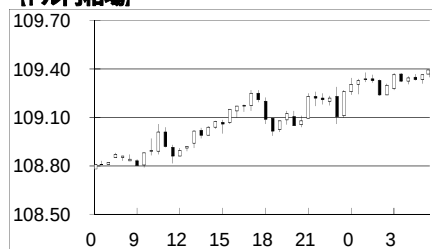
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月25日	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-0.2%

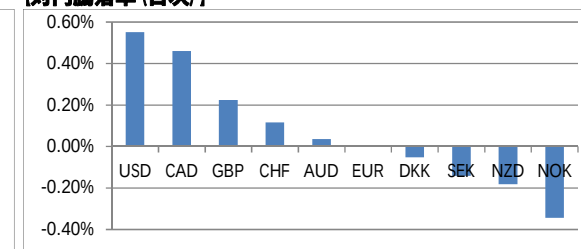
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月26日	20:45	欧 ECB主要政策金利(主要政策金利/限界貸付金利/預金フロンティア金利)	-	0.0%/0.25%/-0.4% 0.0%/0.25%/-0.4%
	21:30	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	230k 232k
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	3月	1.6% 3.0%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	3月	0.5% 1.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.00—110.00	1.2120—1.2220	132.50—133.80

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場のドル/円相場は続伸。米10年債利回りがしっかりと3%に乗せる等、米金利上昇が継続する中、対主要通貨でドル全面高が進行。金利上昇を嫌気して前日は下落した米株が6日ぶりの前日比プラス圏へ上昇したこともサポートとなり、ドル/円は海外時間入りの109.10円絡みから109.45円まで堅調に推移した。本日のドル/円相場は、底堅い値動きを予想する。米金利上昇局面にも株価は今のところ持ちこたえており、地政学リスク・貿易戦争等リスクオフ材料も小康状態となる中、ドル/円は6日連続陽線引けと上昇基調。テクニカル的にも日足一目均衡表雲の上限を抜けてきており、依然、上値余地はありそうだ。

東京	東京時間のドル円は108.81レベルでオープン。この日は五・十日にあたり実需勢によるドル買いフローが強まったこと等からじり高推移となり、一時109.06まで上昇したが、109円台では相応の売り意欲が見られ次第に伸び悩み、108円台後半まで反落。しかし、午後に入り特段の新規材料のない中で全般的なドル買い地合いとなると再び109円台を回復。その後も底堅い推移が継続し、109.15レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は109.15レベルでオープン。全般的なドル買い地合いとなる中、大手生保がオープン外債を積み増し為替ヘッジ比率を引き下げると発表したことも相俟って2か月半ぶり高値109.27まで上昇し、109.23レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.2213レベルでオープン。ECB理事会メンバーのバシリアス・カス・リトアニア中銀総裁が、景気回復によるECBの政策移行余地があると発言したこと、1.2215まで小幅に買われたが、独米金利差が拡大する中、1.2175に低下し、1.2178レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は109.23レベルでオープン。本日は米主要経済指標の発表が予定されていない中、朝方は109.20付近での狭いレンジでの取引が続くが、軟調に寄り付いたゲラが下げ幅を縮小する動きに円売りが優勢となり、またドル買いが再び優勢となったことから、ドル円は109.38まで上昇する。午後は109.30付近での推移が続いたが、翌日のECB理事会を控え、ここ最近の低調なユーロ圏経済指標を受けてのユーロ売りドル買いが継続したことから、ドル円は109.45まで上昇し、109.43レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.2178レベルでNYオープン。朝方はショートカバーに一旦1.2200まで買い戻される局面もあったものの、翌日のECB理事会を控えハ派な内容を期待する向きの売りが継続し、1.2169まで下落する。午後は様子眺めから狭いレンジでの推移が続くが、終盤に掛けて再びドルが買われたことから、一時1.2160まで下落し、そのままこの日の安値である1.2160レベルでクロスした。(NY15:00)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当：山本・森谷